

「本山寺山森林づくりの会」活動報告(4/21)

文・写真：武田、写真：山國

日時：2019(平成31)年4月21日(日) 9:30~15:30

気象：天候=晴(気温：22℃)

活動エリア：45林班ろ・03

活動内容：斜面の林床整備、作業道の整備、枝打ち・つる切り

参加者：猪川 誠、泉家恵子、内海宏一、大本孝子、斧田一陽、小櫃徹夫、河瀬宗憲、倉谷邦雄

黒山泰弘、杉本佳英、武田壽夫、宮本 廣、山田真也、山 國 計14名

<♪サクラひらひら舞い降りて……♪(歌：いきものがかり)>

里の桜の多くは「散り果て」だが、山桜はようやく散り初めた風情で、枝の姿は勿論、地面に点々と散らばる花卉さえも目を惹かせる。今日は「平成」最後の活動日、次の5/2は令和元年である。『時に初春の令き月、気淑く風和み……(万葉集#814 序)』が明日への夢を馳せさせる。折しも3年の活動期間の仕上げの年と言うことで、一同、カツを入れ直す(?)。活動地は45林班ろ・03の溪流に落ちる傾斜地、散らばった間伐材の整理や作業道の整備、枝打ちなど、4班に別れて取り組む。

伝達事項3点

- ① 「さともし」の事業新年度は4/20から
- ② モニタリング調査区だけでなく、8haを「見目良く」整理しておきたい
- 除伐、整理した木に残るテープ類も「ゴミ」として回収すること
(「さともし推進事務局」による年度末実査候補地の一つ)
- ③ テープの色分け：「白」=除伐、「赤」=危険木、「青」=保存木、「ピンク」=境界、「黄」=特定のマーク
「お山は晴天、六根清浄」で今日も頑張って**安全第一**でスタート!!

<今日の成果>

溪流を抱いた傾斜地なので足場は悪い、地面が乾いているのは幸いだが、上下・左右の移動の度に足掛り・手掛かりを確かめる。それでも林床は各20m×50m(計0.2ha)で間伐材の玉切り・棚積みを実施。この間、除伐3本、根起しの高木2本を整理。枝打ちは40m×50mの範囲、伸ばした高枝切り鋸を持ち上げるのはいつも乍ら腕に堪える。作業道は25mを延伸。なお、足下の落枝は玉切りが落ちかかると思わぬ枝ハネを起し兼ねず要注意。ここは作業小屋より100mは低い場所で、帰りはいつも「桃色(吐息)」よりも「青息吐息」、行はよいよい帰りは……。夏に向って暫くはこうした標高が低い場所での活動になる。

(作業の様子は写真編で)

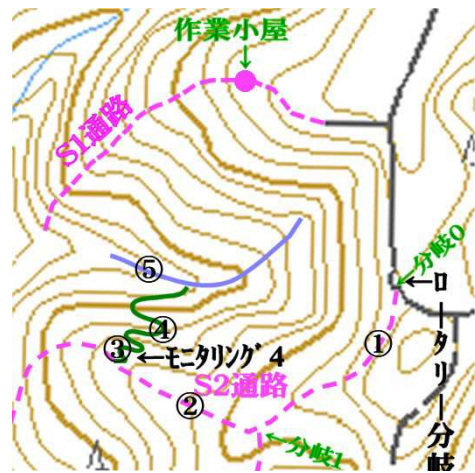
<季節の山だより>

郡上八幡の井上会員からは円光寺の江戸彼岸枝垂桜(樹齢：推定310年余)と活動地のコバノミツバツツジ・ヤマザクラ

<全員集合>



<活動地要図-②~⑤の周辺>



<間伐材が散乱する斜面>



<整備後の斜面(左写真の作業後)>



<コバノミツバツツジの挨拶>



<重なる根起し(チェーンソーで玉切りを繰り返す)>



<作業道の補修中>



<腕も首も凝る枝打ち作業>



<落枝と倒木で覆われた溪流部>



<急な折り返し箇所の整備後>



<円光寺の枝垂桜>



<本山寺山のヤマザクラ>

